



女性が年齢を重ねると、骨が弱くなる骨粗しょう症が心配になります。脚の付け根や腰の骨折などが起こりやすくなるといわれますが、まず注意が必要なのが手首の「橈骨遠位端骨折」です。近年の調査で、これらの骨折は発症し始める年代が異なることが分かってきました。橈骨遠位端骨折は、活動的な生活を送る五十代後半から六十代の女性が、ハイキング中につまずいたり、自転

## ⑨ 橈骨遠位端骨折(手外科センター)

橈骨遠位端骨折と手術治療



転倒して骨折



プレートで固定

車で転倒したりして受傷し、必ずしも高齢者の骨折とはいえません。

この骨折は、以前は老年寄りの骨折として扱われ、「手首が変形した」「痛くて動かせない」「力が入らない」などの後遺症が残っても、やむを得ないと考えられています。

しました。

しかし、この年代の女性はまだ若く、人生半ばです。近年は、より良い手術法が開発され、手外科医の技術も向上しています。適切な治療で良好な手関節(手首)の機能を取り戻すことができま

高齢者の骨折とあきらめず、専門医による治療を受け、健康で活動的な生活を末永く送りましょう。また、骨折した人は、骨粗しょう症の入り口にさしかかっているかもしれないと考え、骨の強度の検査を行い、必要があれば、骨を丈夫にする治療を受けることをお勧めします。

(中尾悦宏副院長・談)

# 良好な手首の機能回復



中日病院 名古屋市中区丸の内3

の12の3。 中日病院 052(961)2491